【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年6月14日(2018.6.14)

【公開番号】特開2018-7816(P2018-7816A)
【公開日】平成30年1月18日(2018.1.18)
【年通号数】公開・登録公報2018-002
【出願番号】特願2016-138401(P2016-138401)
【国際特許分類】
Ａ４７Ｆ　5/11　(2006.01)
Ａ４７Ｆ　5/10　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４７Ｆ　5/11
Ａ４７Ｆ　5/10　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成30年5月7日(2018.5.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
スリーブ状の枠体(1)に複数段の棚(2)を備えており、前記枠体(1)は、各段の棚(2)の上方で開放された前壁(3)、対向する側壁(4)及び後壁(5)から形成され、各段の棚(2)が前壁(3)に揺動自在に繋がり、対向する側壁(4)に奥行方向の中間部で上下方向に延びるヒンジ線(4a)が設けられ、
組立状態から側壁(4)をヒンジ線(4a)に沿って屈曲させ、各段の棚(2)を上方へ揺動させると、折畳状態となる折畳式陳列具において、
前記各段の棚(2)の後端部が後壁(5)の内面に重なる内後板(6)により連結され、折畳状態と組立状態との変換に際し、内後板(6)が後壁(5)の内面に沿って枠体(1)に対して昇降し、これに伴い、各段の棚(2)が一斉に揺動する棚連動機構を備えており、
折畳状態では、内後板(6)が枠体(1)に対し上昇位置にあり、組立状態では、内後板(6)が枠体(1)に対し下降位置にあることを特徴とする折畳式陳列具。
【請求項２】
請求項１に記載の折畳式陳列具において、折畳状態とする際には、前記側壁(4)をヒンジ線(4a)に沿って外側へ張り出すよう屈曲させ、
組立状態では、棚(2)の後端部の係合突起(2d)が内後板(6)を後方へ貫通し、後壁(5)に係合することを特徴とする折畳式陳列具。